

	<p>6月環境月間特集その3： 知恵を絞って、環境保護に取り組む</p> <p>～ 光精工(株) ～</p>
---	--

～環境保護に向けた当社の様々な取り組み状況～

当社は、プロペラシャフト用のユニバーサルジョイントやエンジン・ミッション部品を製造し、国内4工場、海外3工場に事業を展開している。

それら製品の多くは、浸炭熱処理から研削工程を経て完成品になることから使用エネルギーの約30%が熱処理工程で、また20%がコンプレッサ及び研削工程で消費される。

当社でのエネルギー源は、電力、A重油、LPGを主体としているが、電力費を削減するために2002～3年に自家発電設備を導入した。また暖房用のA重油については電力への熱源変更を行なったことでCO2排出削減にも貢献をしている。今後、熱処理炉用のLPGについても都市ガスへの切り替えをはかる予定である。

昨年の夏はピーク電力削減を目的とした土日稼働に合わせて、「消す、止める、変える」の身近な節電対策を推進するとともに、自家発電設備の稼働率を調整することで対応を行なった。今夏に向けてより抜本的な電力削減を行うために、高効率照明導入、コンプレッサ室温改善、未使用受電盤トランス解放などを実施していく。

一方、潤滑液、切削液、洗浄液、研削液などの廃液を処理するために、水処理設備を設置して工場排水の水質を安定化させている。季節的な変動や工場の操業度に応じて排水量や処理条件を調整することにより薬剤投入量を大幅に削減することが出来た。また、ドライ粉、研磨カス、包装資材、などの産業廃棄物の削減と再資源化にも取り組んでいる。

さらに、上海近郊（丹陽市）の新工場立上げに関しては、現地の法規制が遵守できる排水処理装置を設備メーカー等にご協力いただき計画をしている。

【員弁工場の自家発電装置】

